大沼公民館　「歴史講座」　文化部

【大沼はスゴイ！を実感】
～講義と大沼周辺のバス巡り～

江戸時代原野であった相模原（大沼）が新田開発を経て発展を遂げ、明治維新から急速に近代化がさまざまな分野で進み、相模原の地形を生かして畑地かんがい用水事業の役目を果たし、その後食糧事情の好転や都市化により十分機能しないうちに使われなくなった近現代史を解き明かします。

令和７年7月 11 日①回目　講義　13:30～
18 日②回目　バス巡り　※参照
（全3回）いずれも（金） 25 日③回目　講義　13:30～
原則として３回出席できる方　（受付 13:00～）

講師：山田　真也　氏（郷土史研究家）

※2 回目の行程詳細は申込み時にお知らせします。
（予定）①かんがい用水の東西分水嶺と歌碑（相模原ゴルフ場内）
②虹吹き分水（陽光台）　③御尊櫃街道・一里塚（麻溝台、他）
④慰霊塔（御製石碑　他）　⑤大沼神社（水田記念碑・沼の名残り）
見学先は変更する場合があります。　持ち物：弁当・飲み物・敷物等

会場　大沼公民館 大会議室　（2回目はバス巡り）
定員　35名（先着順）（大沼公民館区内在住の方優先）
参加費　原則無料（入場料など自費負担が発生することがあります）
申込み 6月24日(火)～ 7月 4日(金) 午前9時から午後5時
窓口又は電話でお申し込みください。(6月30日（月）を除く)
お問い合せ 大沼公民館 042-744- 7722